

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設名	豊島区立南大塚保育園
施設所在地	東京都豊島区南大塚2-36-3
法人名	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

- ・民族楽器に触れる ドラムサークル開催
- ・音の大きさや小さい音
- ・身の回りの音
- ・素材による音の違い（手作り楽器） 等

<テーマの設定理由>

今回のテーマ「音」では打楽器を中心として、子どもの音楽に触れる経験をさらに豊かにできるように、身近な音に耳をすませたり、民族楽器などの打楽器に触れるなどして、打楽器に興味を持ち自分で手作り楽器を作ることによって「音」の仕組みや不思議さを知ることができるよう計画しました。

2. 活動スケジュール

- ・民族楽器をとりいれ、子どもたちに楽器に触れる機会をもつ（活動①）
- ・職員による民族楽器の紹介と手作り楽器の演奏・身近な音クイズ（活動②）
- ・園児と職員で手作り楽器の作製（活動③）
- ・園児と職員の手作り楽器での演奏会 3.4.5歳児（活動④）0.1.2歳児（活動⑤）
- ・ドラムファシリテーターを招き、園児・職員参加のドラムサークル開催（活動⑥）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・民族楽器の購入（園児・職員・保護者がいつでも手に取れる楽器コーナーの設置。楽器テントを設置し、園児・職員が入り込んで演奏できる環境を作りました。）
- ・iPadの購入（園児の楽器に触れる姿や、手作り楽器を作成する姿、演奏会の様子を記録したり、身近な音を集めたり音を録音するなどしました。）
- ・本・図鑑の購入。（手作り楽器のヒントになったり、楽器への興味が広がる書籍を用意し、園児が自由にみられるようにしました。）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 民族楽器をとりいれ、子どもたちに楽器に触れる機会をもつ（活動①）
- ・ 職員による民族楽器の紹介と手作り楽器の演奏・身近な音クイズ（活動②）
- ・ 園児と職員で手作り楽器の作製（活動③）
- ・ 園児と職員の手作り楽器での演奏会 3.4.5歳児（活動④）0.1.2歳児（活動⑤）
- ・ ドラムファシリテーターを招き、園児・職員参加のドラムサークル開催（活動⑥）

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

11月より民族楽器に触れる機会を設けた。0歳児～2歳児は楽器の部屋であるテントの中に入ると自由に民族楽器に触れて、いろいろな楽器を振ったり叩いたりを楽しむ姿がありました。バチ（マレット）を用意すると壁やテントの梁を叩いたりいろいろな場所の音を楽しんでいました。3歳児～5歳児になると叩き方や音の出し方に興味をもって「どうやって音を出すの？」と保育士に聞いていました。友達同士「こうじゃない？」と見せあう姿がありました。

2月6日（水）音の集会（活動②）様々な国の楽器、音の聴き比べなどをしました。楽器からは色んな音がしたり、身近なものでも音があることを知った子どもたちです。楽器を手にした園児が保育士に手渡し「いい音するんだよ。」「結構重いんだよ」と手にした感想を保育士と共有する場面が見られました。集会後は「楽器作りたーい」とスプーンやアイスノンの棒を使って楽器を作り始めました。

2月26日（水）3歳児～5歳児で作った楽器を紹介し見せ合いました。（活動④）3歳児ばんだ組は空き箱に画用紙、シールを貼り、鈴をつけてタンバリンを作りました。4歳児きりん組は色鉛筆やストローで作った楽器の作り方を異年齢児の前で説明していました。5歳児ぞう組は廃材を使ってのドラムセットを作り保育士からの質問に「ダンボールの上に空き箱をつけたりして、ドラムをつくりました」と話していた。演奏会でも他児と顔を合わせ音を合わせる姿が見られていました。

3月13日（木）音の集会（活動⑤）乳児クラス中心に手作り楽器を持って披露しました。様々な楽器に目を輝かせ楽器に触れる0歳児りす組の子どもたちです。音を聞いてなんの音かを考えるクイズでは「ピーぽーピーぽ」「びよびよ」と保育士に聞こえた音を教えてくれる姿もありました。

3月17日（月）ドラムファシリテーター野田憲一先生を招き園庭でのドラムサークル開催。
（活動⑥）「雷みたーい」と大きな音に話している子や「近くに行ったらお腹痛くなりそう…」など活動に入る前から「楽しそう！」とワクワクする子どもたちの姿があった。野田先生の話聞きリズム真似っこもしました。「自分たちも先生役したい！」と長蛇の列ができるほどでした。「楽器をいい音ならすのが、なんか大変だった。」打楽器に触れることで楽しさと「音」で友達と対話する経験を味わう機会になりました。

活動①に関わる写真



音の収録



園庭の楽器テント



音の集会活動②に関わる写真



楽器作りの様子 活動③



音の集会 楽器作り発表会（活動④）



乳児音の集会 楽器作り演奏会（活動⑤）



ドラムサークル開催。（活動⑥）



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動② 音の集会を保育士がすることによって子どもたちの手作り楽器のイメージが以前よりも湧いているようでした。(5歳児クラス保育士) 集会后には「楽器作りたい」と意欲的な姿が見られていました。(4歳クラス保育士)

活動④自分たちで作った楽器に愛着がわき、異年齢の子どもたちの作ったものにも興味をもって集会に参加していました。クラスで大好きな曲をチョイスしそれに合わせて演奏会をしたことも子どもたちが異年齢の前に気楽に立って表現できた理由かと思います。

活動⑤打楽器に好きなように触れられる機会となり、それぞれの楽しみ方で振ったり叩いたりする姿が見られて良かった。(2歳児クラス保育士) 「おもちゃのチャチャチャ」など知っている歌に合わせて楽器を振る姿がみられました。

活動⑥みんな自由に楽器を叩いているはずなのに、だんだんと音が合い合奏のようになっていきとても楽しかった。保育士が全力で楽しむことで子どもたちも全力で楽しんでもらうんだと改めて気づききっかけになりました。(3歳児クラス保育士)

クラスでは「歌」を中心に音楽に触れていましたが打楽器を使っても音楽はできるんだとドラムサークルを通じて感じました。楽器を通して音楽に触れられるような保育をできたらいいなと思いました。(5歳児クラス保育士)

子どもたちから自然に楽器に触れて一緒に音を奏でる楽しさを味わうことができ、貴重な経験を味わうことができました。(5歳児クラス保育士)

ドラムサークルを20分過ぎたあたりからややエネルギー切れの子どもたちがちらほらいましたが、最後まで子どもたちを飽きさせず続けられるプロの姿に楽しいだけでなく勉強になった。(4歳児クラス保育士)

ドラムサークルの楽しそうな雰囲気にも0歳児クラスの子どものもじっと様子を見ているこや保育士の誘いで楽器にを鳴らして楽しんでいる子も多くいました。身長ほどもある太鼓を嬉しそうにたたく0歳児クラスの子どもの印象的でした。(0歳児クラス保育士)